

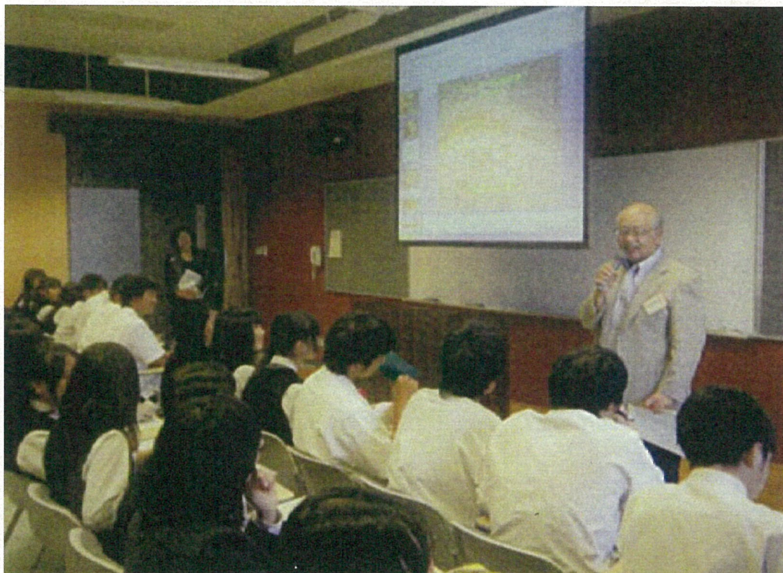
高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

豊橋河川事務所では、愛知県立豊田東高等学校の第1学年が取り組んでいる「産業社会と人間」の授業について、昨年からの講演会及び野外学習の活動を支援しています。

豊橋河川事務所が管理している矢作川の御立地区では、市民・行政・研究者が一体となった協働管理に取り組んでいます。豊田東高校では身近な自然をテーマに地域環境研究を実施しており、学校と隣接しているこの地区において野外学習を実施しました。

◆講演会 日時：平成25年10月17日

講演会では第1学年6クラス(240人)を対象に、協働管理の中心となっているNPO法人矢作川森林塾の碓理事長と、矢作川を管理している豊橋河川事務所の岡崎出張所が講演を実施しました。



NPO法人矢作川森林塾の碓理事長の講演の様子



講演を熱心に聞き入る豊田東高校1年生

講演では豊橋河川事務所の岡崎出張所が平成23年度に実施した、御立地区の河道掘削工事で地域住民の意見を計画・施工に反映した工事の概要と、完成からこれまで取り組んできた「順応的管理」についての経過を説明しました。

碓理事長からは『市民主導の官民協同活動で自然を造る』をテーマに「無からの自然への再生」への挑戦としての、NPO法人矢作川森林塾の取組と、また自然を造るチャレンジの過程から、自然を愛し・自然の摂理を理解する心から生まれる、仲間との「感動の共有」・「感動の絆」が生まれるとして、『自分からできる事から行動しよう』と聴講生のみなさんに訴えました。

高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

◆野外学習 日時:平成25年10月21日

野外学習では第1学年240人を30班(1班8人)に編成し、NPO法人矢作川森林塾・豊田市(矢作川研究所)・豊橋河川事務所の職員と一緒に、外来植物の除去・実生植物のラベリングなどの野外学習を実施しました。



NPO矢作川森林塾の裕理事長のあいさつ



実生植物のラベリング(観察)の様子



矢作川研究所の指導による水生生物調査の様子



台風16号による漂着物の回収・竹の運搬の様子



オニグルミ・ツバキ等の実の採取(実習教材に使用)



御立植物図鑑を用いた外来植物の駆除の様子

野外学習では、豊田東高校から徒歩により御立地区に集合しました、順応的管理をしてきた「せせらぎ」や「池(湧水池)」が台風16号の出水による影響で大きく変貌しましたが、河川環境への取組として外来植物や漂着ゴミ等の除去、NPO法人矢作川森林塾が作成した御立地区の植生図鑑を用いての、実生植物のラベリングや「せせらぎ」での水生生物の調査を実施しました。

2年目を迎えた今回の取組は、豊橋河川事務所と地元のNPO団体が支援し豊田東高校が行う『地域環境研究』として、矢作川アダプト(協働管理)制度と融合して、河川環境の良好な維持管理と学校教育とが融合した取組に発展してきています。